

# エコけん ニュース

No. 99 2007. 10

連絡先 NPO法人エコけん事務局

FAX 092-944-3012 (火～土 9:00～17:00)

e-mail eco\_ecoken@ybb.ne.jp

発行責任者 清水佳香

http://www10.ocn.ne.jp/~ecoken/

## 9月活動報告



「猛残暑」という言葉も聞かれた9月、各学校を訪れての授業は、教室や体育館とも、驚きの暑さでした。そんな中でもこども達は、一生懸命学ぼうと意欲的で、頼もしくさえ感じました。数ヶ月に渡って開発が続けられた「しろくますごろく」の試行もでき、ご協力くださった2校の先生には深く感謝いたします。プロジェクトチームにとって、結果は上々。なかなかの手応えを手にしました。

エコロの森では、夏休みが明けても予約が途絶えないエコロ環境教室の対応や、エコロまつりの準備と大忙し。スタッフ総出の連日出勤で対応しました。

首をかしげたくなる気候に、少々不安な気持ちになるときもありますが、「いっしょにエコロ」ところに念じ、一同、頑張っていきたいと思います。

日	自主事業	受託事業 (エコステ活動)
4	しろくま会議	
6	秋もたくさんの学校の授業をまかされました。がんばるぞ～	商品開発活動
8		アーティスト作品展覧会終了
10	定例会議	教室会議 ポラ育成会議 展示会議 全体運営会議
11	しろくま会議	エコロ環境教室《事業者》 展示室新規更新
12		エコエコクッキング(継続教室)
18	ニュースレター29号配信	ボランティア交流会 エコロワークショップ エコロ環境教室《行政》
19		エコロなウォッシュアップ
20		エコロ環境教室《小学校》 エコロまつりプリマ説明会
21	福岡小学校連携教室	館外教室《小学校》
25	しろくま会議	ポラ会(エコエコクッキング)
26	福津市環境リサーチ養成講座参加	館外教室《小学校》 エコエコクッキング(託児付き)
27	エコけんニュース98号発行 古賀西小学校連携教室	エコロ環境教室《小学校PTA・行政》 館外教室《中学校》 ほっとちゃんと52号発行

## バイオ燃料

最近、マヨネーズ・食用油・カップ麺・お菓子などが値上がりするというニュースを聞きました。アメリカの栽培農家がバイオ燃料の原料となるとうもろこしの生産に転作したのが原因でした。



温暖化対策として、再生可能エネルギーのバイオ燃料が注目を浴びています。バイオ燃料は生物由来の有機性エネルギーで、植物・木材・海草・生ごみ・紙・プランクトンなどから作られたものです。

アメリカではとうもろこしから、ブラジルではさとうきびからエタノールを作り、自動車燃料として使われています。

ブラジルではすでに生産コスト、生産過程でのエネルギー収支において成果がでており、国内販売の85%がガソリンでも、エタノールでも、混合燃料でも走行可能な車です。

日本でも、さまざまな原料から国産バイオ燃料の生産の研究開発中です。ただ、食料自給率が低い日本では食料となる作物以外の有機物からのバイオ燃料の開発が必要だとも思われます。

また、アメリカでは、驚くことにCO<sub>2</sub>で光合成を行う藻類から作るバイオディーゼル燃料を開発中だそうです。一石二鳥の燃料です。

近い将来、化石燃料に頼らない自動車燃料や発電が可能になりそうです。それまで、当面、私たちが今すぐできる温暖化対策は、暮らしの中でできる賢い省エネを積み重ねていくことのようにです。



# エコけんニュース もうすぐ100号に! (IX)

～展望～

いよいよ本号でエコけんニュースも99号。この連載を締めくくるにあたり、今後の展望を述べてみたいと思います。

本音を申せば、つい1年ほど前までは、エコけんの継続については、その時々のお会いやタイミングに任せ、あえて創っていかうとは思っていませんでした。有り体に言えば、自ら加わりたいというヒトが現れなければ、エコけんは将来無くなっていくかも、と考えていました。

ところが、その考えに、ずっと異を唱え続けたのが、エコけん誕生の「この指止まれ」をさし上げたWです。そして彼女の粘りについに根負けして継続を図る、つまり更新し続けるシステム化の重い尻を上げました。継続には必ず「死と再生」が伴うので、これはなかなかつらい作業でもあります。



現在、ふたりの研修生がアルバイトとして加わっています。数ヶ月後に、今後の身の振り方を決めてもらう予定です。そして、現スタッフも、自分のライフサイクルと照らし、「エコけんと私」をふり返りつつ、今後の長いスパンの活動スケジュールを模索しています。と同時に、エコけんの業態についても検討に入りました。年度末あたりには、15年程度の中期計画が形になればいいなどと思っています。

さて、いよいよ、次号でいよいよエコけんニュースは100号です。記念号は、古賀・福津・新宮町の全戸に広告予定です。また、記念イベントは次の通りです。皆様、どうぞ遊びにおいでください。一同、こころからお待ちしております。

## エコけんニュース100号記念イベント

参加費無料

11月10日(土) エコロの森再生・展示棟にて

第1部

養父信夫氏 講演会 ～伝えるコツ～

13:00～15:00

第2部

第1分科会 工場見学 ウォッシュアップ教室

第2分科会 「やっちゃえ企画」 応募企画

第3分科会 NPO活動相談会 ミニワークショップ

15:00～16:30



## ° エコステだより °

### 「エコロの森館外教室」

来館の多い春や夏休み教室が一段落した秋は、近隣の小中学校へ出向き授業をする『エコロの森館外教室』が多くなる季節です。メンバーはその準備に追われ、沢山の教材を持って出かけて行く日が続いています。

内容は学校により様々ですが、最近ではごみ減量や省エネなどに加え、なるべく環境に優しい方法で食事の後片付けを体験してみる『ウォッシュアップ』も人気です。



▲「しろくまくんをすくえすごろく」試用中

また、小学校4年生には開発中の『しろくまくんをすくえすごろく』を使っでの授業を行いました。かわいいしろくまを通して、地球温暖化を考えるプログラムは子ども達へ新しいアプローチを生み出しつつあります。

学校へ出向いて行く事で、子ども達の日頃の様子がよくわかり、エコロの森へ来館した時とはまた別の表情を見ることができます。館外教室は、エコロの森のスタッフがより身近に感じてもらえる良い機会だと思い、毎回張り切って出かけています。



まじつどいづく  
エコロの森 再生・展示棟  
ecolo no mori station

◆◆◆ 古賀清掃工場 再生・展示棟 ◆◆◆

☎ 811-3121 古賀市筵内1970-1 ☎ 電話 092-942-1530 内線 (701)

☎ FAX 092-942-1532 ✉ メール ecosta@ecolo-no-mori.com

### ～事務局より～

- ❖ 10月7日(日) 第3回エコロまつり開催しました。まつり通貨も登場し「楽しかった」「また来たい」との声もたくさん寄せられました。よかった～
- ❖ エコけんニュースは、古賀市市制施行10周年記念事業 プロジェクト「わ」に参加協力します。

10